

メディカルほっと通信

せせらぎ

2014
春号
vol.11

四万十川のせせらぎのようにやさしく、そしておおらかに...

患者様に寄り添い共に歩む、真心のこもった医療を目指します



もくじ Contents

特集 密着！病棟ナースの一日	2・3p
こんにちは 3階・4階病棟です！	4・5p
せせらぎ掲示板	6p
・「糖尿病にならないためのセミナー」	
・平成26年度脳ドッグのご案内	
・高知県国保地域医療学会参加報告	
それゆけDMAT！「ドクターヘリ編」	7p

他

春です！
まるごとナース
特集号！

四万十市立市民病院広報誌



ナースまるごと特集号!~その1~

病棟ナースの



8:30

夜勤者(深夜)からの申し送り、受け持ち患者さんの情報を受け取ります。
「おはようございます」「お疲れ様でした」の挨拶を交わし、明るくさわやかに業務が開始されます。
受け持ち患者さんの情報をもとに検査、指示された注射・点滴・内服薬の確認を行い患者さんに実施します。
その後、看護ケア(指示された処置、日常生活援助)に全員が入ります。
医師の回診に同行し医療処置の介助、患者さんの訴えを把握します。

8:30

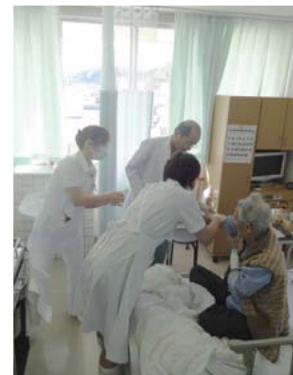


10:00



10:00

環境整備や患者さんの※バイタルサイン測定などの看護ケアを行います。
患者さんを観察することで得られた情報から、気になることがあれば医師に報告し指示を仰ぎます。
入院や退院される患者さんのお世話をします。
緊急入院の患者さんには受け持ち看護師だけでなく、多くの看護師がかかわり治療の介助や患者さんの苦痛緩和に努めます。
医師の治療や処置の介助をします。



21:00

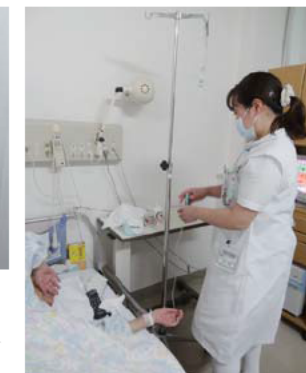
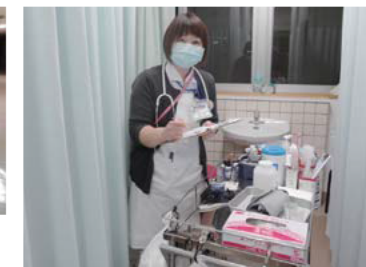


19:00



21:00

患者さんが就寝できるようラウンド(見回り)します。
就寝後も患者さんに異常は無いかなど定期的にラウンドします。
看護記録や、明日の検査の準備をします。



19:00

病棟をラウンド(見回り)し患者さんの※バイタルサインのチェックをします。
患者さんが就寝されるまでの時間、処置や看護ケアを実施します。
緊急入院患者さんの受け入れなどもします。



0:30



1:00



6:00

0:30

深夜勤務の看護師に申し送ります。
受持ち患者さんの情報や新しく入院した患者さんについて説明します。



1:00

準夜勤務の終了です。
患者さんが問題なく過ごされた夜はホッとして自宅に帰ります。

1:00

重症患者さんの様子をチェックします。
患者さんは就寝中ですが、看護師は定期的に患者さんの様子を観察するため病棟内をラウンド(見回り)しています。
看護記録や、受け持ち患者さんの看護計画の評価などを行います。
今日の採血検査の準備をチェックします。

※バイタルサイン・・・「生命維持に必要な兆候」という意味で、主に、血圧、脈拍、呼吸、体温、意識レベルなどを指します。

市民病院の入院病棟では、看護師が「3交代勤務制」という勤務形態をとり、入院患者さんの看護ケアを行っています。

「3交代勤務制」では24時間切れ目なく患者さんの看護ケアを行うために、日勤(8時30分～17時15分)・準夜勤(16時30分～1時00分)・深夜勤(0時30分～9時00分)と勤務する時間帯を3つに分け勤務しています。



12:00

昼食の配膳、食事介助を実施します。患者さんに合わせた食事が提供されます。
管理栄養士と連携し患者さんが少しでも食事が進むよう話し合いをします。
お昼休憩は交替で取ります。
ナースステーション内の休憩室でお昼休憩をします。手作り弁当の職員もいます。

14:00

午後の患者さんの※バイタルサイン測定、看護ケア、処置を行います。
患者さんの看護必要度を毎日測定します。
患者さんの看護計画や問題点などについてミニ※カンファレンスを行います。
リハビリ※カンファレンスや、医療ソーシャルワーカーとの話し合い(週に1回程度)に参加します。

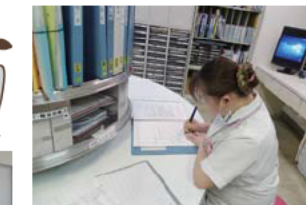
12:00



13:00



14:00



13:00

手術を受けられる患者さんを手術室まで送ります。
患者さんはとても不安です。患者さんを励まし、見送ります。医師や手術室スタッフは安全な手術に全力を注ぎます。



18:00



17:15



16:00



18:00

夕食の配膳、食事介助を実施します。



17:15

日勤勤務が終了します。
重症患者さんの様子をチェックします。



16:30

準夜勤務の看護師に申し送ります。
受け持ち患者さんの情報や新しく入院した患者さんについて説明します。
夜間の処置や、医師の指示変更など間違いがないように申し送ります。



8:00



8:30



9:00

6:00

「おはようございます」「よく眠れましたか?」の挨拶をしながら患者さんに起床をお知らせします。
血液検査の指示に従って採血を実施します。
朝の看護ケア(主に洗面、排泄)を実施します。

8:00

朝食の配膳、食事介助を実施します。

8:30

日勤勤務の看護師に申し送ります。
受け持ち患者さんの情報や新しく入院した患者さんについて説明します。



9:00

深夜勤務の終了です。
患者さんの事を気にしつつ自宅に帰ります。



※カンファレンス・・・患者さんの情報交換と話し合いにより治療やケアなどの方針を出す場のことを言います。

ナースまるごと特集号!~その2~

こんにちは

3階病棟

私たちハートフルで、パワフルな病棟ナースです!



患者さんの1日も早い回復を願いながら、私たちも24時間寄り添い共に闘っています!

患者さんが安心して入院生活が送れるよう、いつも笑顔でがんばっています!

私たち3階病棟では23名の看護師が、主に内科系疾患の患者さんの看護ケアにあたっています。ベッド数は54床ですが、約9割の患者さんが高齢者でありとても高齢化が進んできております。高齢の患者さんの入院期間は長くなることが多く、患者さんとの信頼関係を築くことができるようコミュニケーションを大切に、患者さんと向き合って根拠に基づいた看護実践にスタッフ一丸となって取り組んでいます。

4階病棟



手術後のケアや検査など日々忙しく走り回っています。スタッフ同、笑顔を絶やさずチームワークで頑張っています!

大変なことも多いけど、患者さんが回復して退院されるなど嬉しいこともたくさんあります!

私たち4階病棟では20名の看護師が、主に外科系疾患の患者さんの看護ケアにあたっています。ベッド数は43床で、手術を受けられる患者さんの多くが入院されています。急性期看護からリハビリテーション、そして退院・転院に向け、患者さんの回復状態や希望に合わせられるよう、院内各スタッフとの連携の中心となって最善を尽くすことができるよう日々がんばっています。

患者さんの看護には「受け持ち看護制」で取り組んでいます!

患者さんの入院から退院までを一人の看護師が担当します。担当看護師は、患者さんに応じた看護計画を立て、きめ細やかな看護ケアを行うことができます。

ベテランも新人もがんばっています!



問題があってもひとりで抱え込まずに、看護師どうして相談・協力しあいます。

白衣のポケットの中身は?

てきぱきと業務をこなしていく看護師の白衣のポケットには秘密があります!

院内用PHSです。ナースコールにもこれに対応することができすぐにベッドに駆けつけます!



左→血中の酸素飽和度を測る機械で「パルスオキシメーター」といいます。
右→体温計です。

ポケットの中に入れておくことができない特殊なかたち。ハサミ。薬の袋が開けられないなど、とっさに患者さんに頼まれたときなど重宝します。

書類作成も大切な仕事です!

患者さんの看護ケアの他にも、カルテなどをはじめとするたくさんの資料を作成することも看護師の大切な役割の1つです。

患者さんの症状など看護経過を正確に「看護日誌」に記録していきます。記録に関して約12種類もの書類を作成します。きちんと記録することで看護師全員が情報を共有することができます。



入院に関してだけでも、おおよそこれだけの書類を記入しなければなりません。看護師が丁寧にサポートします。

縁の下のカ持ち!?

病院には看護師の他に看護補助者が数名います。入院ベッドのシーツの取替えや汚物の処理など、患者さんの身の回りのお世話や環境整備に携わっています。

ここでも記録は重要です。どの患者さんにどのケアを行ったのかきちんとチェックしていきます。



シーツ交換も手際よく行っています!



総看護師長 ちゃばた 茶畑 幸子

看護職は24時間365日患者さんの一番身近にいる存在です。

私たち看護師は一つ一つの看護業務に対して、「患者さんにとって最良で安全な方法であるか」と常に考えながら実践しています。そして患者さんの苦痛や思いを想像し「寄り添い共に歩む看護」を心がけています。

超高齢社会、医療の高度・専門分化、価値観の多様化等、医療をとりまく社会環境が目まぐるしく変化するなかで、私たち看護職が担う役割と責務の重要性は年ごとに増しています。

患者さんの「かけがえのない一つの命」に関わらせていただく重みを自覚し、そして「人のために役立つ」ということを強く実感できる看護職に誇りをもって、これからも看護業務に取り組んでいきたいと考えます。

せせらぎ掲示板

「糖尿病にならないためのセミナー」開催のご案内

「運動のコツを学ぶ！」

～春です！まずはウォーキングから始めよう！～

糖尿病を予防するためには、日々の食事・運動が大切です。

樋口院長のお話や、運動のコツ・低血糖などについて学ぶことができる内容となっています。

市民病院では現在5名の「糖尿病療養指導士」という資格をもった、糖尿病に関するエキスパートがいます。人間ドックなどで糖尿病予備軍と指摘された方、糖尿病のご家族や親せきがいる方などは特に参加していただき、日頃から疑問に思っていることを是非ご相談ください。

日 時 平成26年5月24日(土)
13時から

場 所 市民病院 1階
健康管理センター

参加費 無料

※事前申し込み不要です。
当日受付時間にお越しください。

【当日のプログラム(予定)】

13:00～ 受付

血圧・血糖測定

13:20～ 「運動と血糖の関係」のおはなし
(樋口院長)

◇どんな運動が いいの？
(理学療法士より)

◇低血糖とは？
(薬剤師より)

◇ウォーキング
(※運動ができる服装・靴でご参加ください)

～15:30 終了(予定)

高知県国保地域医療学会 で発表しました！

2月15日、高知医療センターにて、「第27回高知県国保地域医療学会」が開催され、当院から樋口院長と看護師2名が参加しました。

研究発表では、糖尿病療養指導士の資格をもつ岡村看護師が「当院のインスリン使用マニュアル策定について」というテーマで、医療者側によるインスリン取扱いの標準化が患者さんへの安全や療養の質に与える影響を発表しました。これは、昨今急速に改善・進歩していく糖尿病治療について、プロセスに関わる全ての院内スタッフが折に触れマニュアルに目を通すことによって、チーム医療・患者さん中心の医療、そして医療安全そのものがさらに推進していくことを期待するものです。

また、他市町村からも、地域住民の健康づくりへの取り組みや、地域性を生かした医療連携などの報告があり、今後の私たちの活動にとっても良い刺激となりました。



シリーズ それゆけ!DMAT②

ドクターヘリ出動！ 網代トンネル大規模事故訓練に参加して...



DMAT隊員は、地震などの大規模災害をはじめ多数傷病者が発生する事故・火災現場などにも赴き、救命活動を行います。

2月4日、網代トンネル開通(四万十市西土佐地域)に備え「トンネル内で車同士の正面衝突事故」を想定のもと訓練が行われました。これは高知県ドクターヘリ・高知医療センターの協力のもと四万十消防署と西土佐分署が行う訓練で、西土佐診療所、四万十市立市民病院の医療スタッフも協力参加しました。

当日、事故連絡をうけ高知医療センターから離陸した「ドクターヘリ」は強風にあおられながらも約35分(良天候であれば約27分)で西土佐中学校グラウンドに着陸しました。ヘリから降機した高知医療センターのDMAT隊員(医師・看護師)は、すぐさま事故現場から救急車搬送された重症患者をヘリ機内へ収容する作業にとりかかります。事故連絡を受け救急隊員が発動し重症者を乗せたドクターヘリが離陸するまでは約1時間足らずというスピードで、市民病院DMATチームとしても学ぶべきポイントが多い有意義な訓練となりました。



ドクターヘリとは？

救急用の医療機器を装備して基地病院(高知医療センター)に常駐し、消防機関・医療機関等からの要請に基づき、救急医療の専門医師と看護師が同乗して救急現場に出動し、患者に救命医療を開始して最適な医療機関に搬送する救急医療専用のヘリコプターです。

看護師の職業って？ ～地元の職業人(プロ)から学ぼうに参加して～

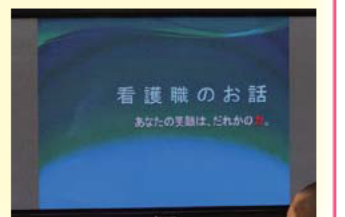


2月7日、中村中学校にて「地元の職業人(プロ)から学ぼう」と題する授業が行われました。

これは、市内の様々な職種の方々からの講話をととして、中学生自身が仕事に対しての見方や意識を高める総合学習となっており、昨年に引き続いての参加となりました。

今回当院から参加したのは、茶畑総看護長と森看護師の2名です。森看護師は、当院で唯一の男性看護師です。特に男子学生さんには実際に会って話をすることでイメージできればと考え参加させていただきました。

講話は茶畑総看護長によるもので、「看護師の資格をとるために必要な勉強・学校のこと」「看護師の日々の業務」、また看護長自身が看護師を目指した経緯などをやさしくわかりやすくお話ししました。中学生の皆さんは熱心に耳を傾けてくださり、「もしかしたらこの中から将来一緒に仕事をする生徒さんがでくるかもしれない！」という期待に胸を弾ませ学校を後にしました。





外来診療医師担当日表

(平成26年4月1日より)

●受付：午前 8 時～11 時まで(☎34-2126)

●診療開始時間：午前 9 時から

*印は「非常勤医師」です

		月	火	水	木	金
内科	初診	小川貴司	初診 矢野昭起	初診 高橋敏也	初診 高橋敏也	初診 小川貴司
	午前再診	樋口佑次	初診 小川貴司 第1・3・5週 高橋敏也 第2・4週	再診 樋口佑次	再診 小川貴司	*竹田修司 第1・2・5週 高橋敏也 第1・3・5週
	午後再診	矢野昭起	再診 *鷲山憲治	再診 矢野昭起	再診 樋口佑次	再診 石井泰則 ※禁煙外来 (呼吸器外来) 第2・4週
	午後再診	樋口佑次	再診 小川貴司 高橋敏也 ※禁煙外来 (呼吸器外来) 第1・3・5週	再診 高橋敏也	再診 高橋敏也	再診 樋口佑次
		高橋敏也	再診 *鷲山憲治 *国立高知病院医師 (呼吸器内科) 注) 第2・4週	再診 矢野昭起	再診 小川貴司 *竹田修司 第3週	
外科	午前	宇都宮俊介	石井泰則	宇都宮俊介	石井泰則	宇都宮俊介
外整形	午前	河内 通	坪屋英志	河内 通	坪屋英志	河内 通
脳神経外科	午前	伴 昌幸	川田祥子	伴 昌幸	川田祥子	伴 昌幸
(急患のみ)						
器泌科尿	午前	中尾昌宏	休 診 (手術・検査)	中尾昌宏	休 診 (手術・検査)	中尾昌宏

注)国立高知病院医師4人(篠原勉、畠山暢生、岡野義夫、町田久典)が、交替で診察します。

平成26年度「脳ドック」のご案内

四万十市(保健介護課)との連携事業として、平成26年度も「脳ドック」を行います。くも膜下出血や脳梗塞などの脳卒中予防や早期発見・治療につながる大変有効な検診です。

四万十市民の方々を対象に、検診費用25,710円のうち20,000円を助成(自己負担5,710円)する検診費用助成制度がありますので、該当される方は是非ご利用ください。

◇申し込み・詳細については・・・

四万十市保健介護課(☎34-1115)までお問い合わせください。

※広報四万十4月号にも詳しい内容が掲載されています



あとがき ～編集後記～

「24時間365日切れ目ない看護ケア」と言いますが、実際密着取材してみても、改めて看護師という仕事のすばらしさと同時に大変さを実感しました。今、地域医療を支える看護師の不足が大変問題となっています。今回の内容を是非多くの方にご覧いただき、看護師が増え安心して地域で暮らせる「小さなキッカケ」になればと思います。

(岡田)

四万十市立市民病院理念

【基本理念】 私たちは良質な医療を提供し、患者さんに信頼される病院を目指します。

【基本方針】

- (患者の権利の尊重) 患者さんの人権と生命の尊厳を尊重した医療を行います。
- (職員の自覚・自己啓発) 全ての職員は医療技術の研鑽に努め、親切で優しい対応を心がけます。
- (地域連携) 地域の医療機関等との連携を推進し、開かれた病院づくりに努めます。
- (経営健全化) 経営の健全化を図り、安定した病院運営に努めます。

ホームページも
ぜひご覧ください！

四万十市立市民病院 [検索](#)

発行元

四万十市立市民病院
広報委員会

〒787-0023
四万十市中村東町
1丁目1番27号
TEL(0880)34-2126
FAX(0880)34-1861